

横山地域まちづくり提言書

平成20年 5月

横山地域まちづくり会議

提言にあたって

横山地域まちづくり会議が、昨年10月に発足し、今回、横山地域のまちづくりに関して市長へ提言するまでの間、合計9回の会議を重ねてきました。

現状抱える身近な生活問題・課題からはじまり、10年先を見据えた将来の目指す姿と地域課題まで、地域各団体の代表等の私を含めた22名の委員が、熱心にかつ活発に、個々の様々な観点から意見を出し合い議論を進めてきました。また、より多くの地域住民の皆様の意見を提言書に盛り込むために、地域説明会を開催し、まちづくり会議委員以外の方々の意見反映にも努めてきました。その結果として、市長以下行政サイドにお願いする部分と、地域の活性化・人づくりを中心とする地域が取り組んでいかなければいけない課題が、具体的なビジョンとして整理できたものと自負しております。

一方で、こうしたビジョンを実現していくには、何をやるにしても財源が必要だという側面を現実の話として認識しておく必要があります。相模原市も厳しい財政状況の中にあることは十分認識しておりますが、より一層の行政改革に取り組んでいただき、是非その財源確保の見通しを地域住民に開示していただきたいと思っております。この提言書が、新しい総合計画や新都市計画マスタープラン策定のベースとして有効活用され、大いに地域住民の意向を反映していただきたいと思っておりますし、そして何より、みんなの笑顔が絶えない地域づくりを、行政・地域が手を携えながら実現されていくことを願い、提言にあたっての挨拶とさせていただきます。

平成20年5月

横山地域まちづくり会議

会長 小林 茂裕

目 次

1 地域の現況と課題	P1
2 提言項目の体系	P2
3 重点提言項目(地域重点方策)	P3
4 分野別のまちづくり提言	P6
(1) 医療・福祉	
(2) 都市基盤・交通	
(3) 教育・文化	
(4) 住環境	
(5) 安全・安心	
(6) コミュニティ	
5 提言図	P14
(付属資料)	
会議経過	P15
横山地域まちづくり会議委員名簿	P16
審議内容等.....	P17

1 地域の現況と課題

横山地域は、戦前の区画整理事業の実施により、整然としたまちなみが形成されており、都市基盤の整備も進んだ、市内でも住みやすく恵まれた地域であります。

幹線道路である国道129号や、地域内の生活道路も整備され、道路交通面での利便性は高く、また、横山丘陵緑地などのまとまったみどりも隣接し、自然環境も良好であります。

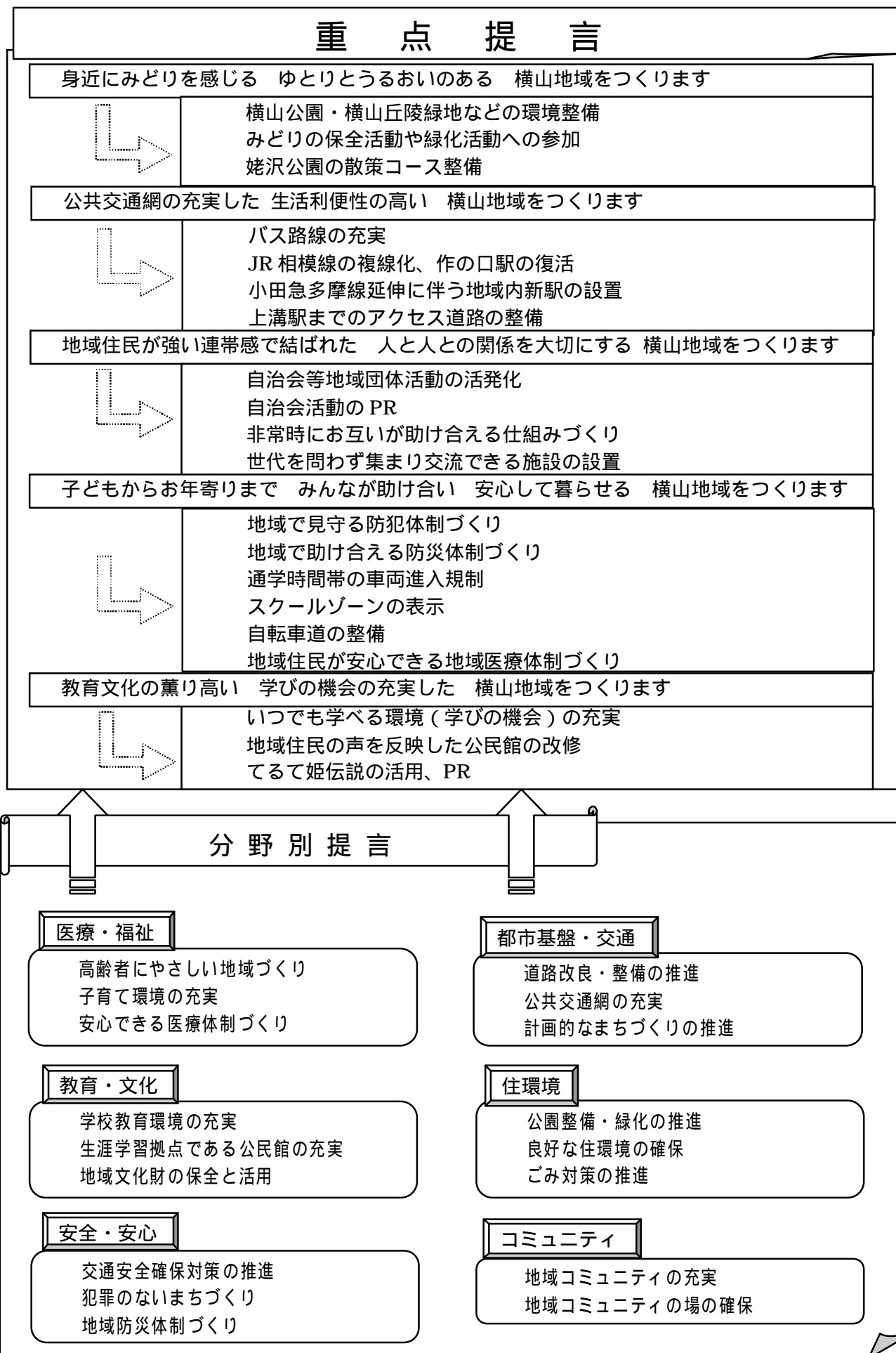
また、この3月には地域内に子どもセンターが完成し、子どもたちを地域で見守り育てることができるようになるなど、子育ての環境が充実してきたといえるでしょう。

一方で、住工混在による弊害やバス、鉄道の利便性の低さなどは今も変わりません。今後、高齢化の進展が見込まれる中では、高齢者が地域で元気に活躍できる環境をつくることや、安全で安心して生活できることが求められており、防犯や防災、交通安全対策など、これまで以上に取り組まなければならない課題も少なくありません。

また、これからの横山地域には、地域住民同士が連携し、それぞれの役割を認識しながら地域づくりを進めること、そしてお互いを思いやる心がより一層求められています。

より質の高い生活環境づくり、みんなが幸せに暮らせる地域づくりのために、様々な課題を、行政と地域が連携して解決していかなければなりません。

2 提言項目の体系



3 重点提言項目（地域重点方策）

本地域は、次の5点を重点的な提言とします。

重点

身近にみどりを感じる ゆとりとうるおいのある
横山地域をつくります

近接する横山公園や横山丘陵緑地などのみどりを、身近に触れ、憩える場として活用できるよう、散策路の整備や照明の設置を進めます。

みどりの保全活動や緑化活動への参加など、身近に感じるみどりを創出する取り組みに対して支援します。

「てるて姫伝説」に親しみながら、みどりを楽しむことのできるよう、姥沢公園の散策コースを整備します。

重点

公共交通網の充実した 生活利便性の高い
横山地域をつくります

日常生活において通勤・通学、買い物等、地域内外への移動の際には、いつでも誰でも必要な移動ができるよう、バス路線を充実させます。

（横山地域から 橋本・北里大学病院・市役所方面へのバス路線の整備）

公共施設を結ぶコミュニティバスを導入し、地域住民が施設を利用しやすい環境をつくります。

地域内に鉄道駅ができることにより、地域住民の利便性が大きく向上するため、JR 相模線「作の口」駅の復活を要請するとともに、輸送力増強のための複線化を促進します。

小田急多摩線の延伸に伴い、地域内に新駅を設置し、公共交通のネットワークが充実した、利便性の高い横山地域をつくります。

上溝駅までのアクセス道路を整備し、地域住民が鉄道駅を利用する際の利便性を向上させます。

重点

地域住民が強い連帯感で結ばれた 人と人との関係を
大切にす る 横山地域をつくります

地域内での様々な活動を通して地域住民を結びつける自治会等
地域団体の活動を活発化させ、住民同士の結びつきを強めます。

自治会活動等の必要性・重要性を地域住民に広く PR し、日常生活
において自主的な地域自治への参加を促進します。

非常時に地域住民同士がお互いに助け合えるような仕組みづくり
を進めます。

地域住民同士があたたかい心、堅い信頼関係で結ばれた地域をつく
るため、日頃から住民同士が交流できるよう、世代を問わず集まり
交流できる施設を設置します。

自治会等・・・自治会のほか、子ども会、老人クラブなど、地域における各種団体

重点

子どもからお年寄りまで みんなが助け合い
安心して暮らせる 横山地域をつくります

地域住民の誰もが安心して暮らせるよう、地域で見守る防犯体制をつくり、日頃の防犯活動に努めます。

地域で助け合える防災体制をつくり、災害時に備えます。

通学路への車両進入時間に規制を設けます。

通学路の安全確保のため、スクールゾーンを明確に表示します。

自転車道の整備を進め、地域内を誰もが安心して行き交うことのできる環境づくりを進めます。

地域住民が近所で安心して医療が受けられるよう地域医療体制づくりに努めます。

重点

教育文化の薫り高い
学びの機会の充実した 横山地域をつくります

公民館で、いつでも学べる環境（学びの機会）を充実させます。

公民館を、時代のニーズにあった施設として、地域住民の声を反映しながら改修等必要な整備を行います。

文化財として「てるて姫伝説」を後世に伝えていくため、地域イベント等で活用し、PRを図っていきます。

4 分野別のまちづくり提言

(1) 医療・福祉

分野別課題

横山地域では、今後10年間で高齢化率が25%まで上昇することが予測されています。こうした状況を見据えた中で、高齢者がいきいきと活動できるような支援や高齢社会に対応した施設整備が求められています。

また、病気の予防に力を入れることや、かかりつけ医を持つこと、医療機関が身近にあることが、地域の誰もが健康で安心して暮らせる環境づくりに必要となります。

核家族化が進み、共働きの世帯も多く、子育ての支援の充実も求められています。

こうした中、地域における福祉活動を充実させていくために、子どもから高齢者まで、地域の誰もが利用できる福祉拠点の整備を進めることが求められています。

提言項目

高齢者にやさしい地域づくり のために、次の取り組みが必要です。

高齢者の日常生活を支援するため、特別養護老人ホームやサービスセンターを設置する。

高齢者の引きこもり対策など、高齢者がいきいきと活動できる環境づくりとして、高齢者が子どもと触れ合える場を設置する。

子育て環境の充実 のために、次の取り組みが必要です。

核家族化に対応するため、保育園や幼稚園等を増設（受け入れ枠を拡大）する。

安心できる医療体制づくり のために、次の取り組みが必要です。

日頃から近所で安心して医療が受けられるよう、かかりつけ医療の普及や、

診療科目の充実した診療所を設置する。

食生活や運動不足が原因となるメタボリックシンドロームの予防対策を進めます。

(2) 都市基盤・交通

分野別課題

横山地域は、土地区画整理事業による基本的な都市基盤の整備が進み、幹線道路や生活道路など道路が整備され、整然とした街区の形成は進んだ地域であります。

しかし、地域内においては、道路網が充実していることで交通量の増加・渋滞などが日常的に発生し、これを解消するためにも道路の改良等の措置が必要となっています。

また、地域内を移動するための手段であった路線バスが、路線見直し等により廃止となり、鉄道を利用する際にも、最寄り駅へ行くまでに時間がかかるなど、公共交通を利用しづらい環境であり、地域住民の買い物や通勤・通学時の利便性を向上させるためにも、利用しやすい公共交通の整備が必要であります。

その他、横山地域では、公民館管区や自治会区、警察署・消防署管区等が入り混じり、地域住民の日常生活に支障を与えており、また、住工混在など中長期的な課題などもあり、将来に向けて、地域の産業振興とともに、計画的なまちづくりを進めていかなければなりません。

提言項目

道路改良・整備の推進 のために、次の取り組みが必要です。

都市計画道路下九沢淵野辺線と国道 1 2 9 号との立体交差化を進める。

交通量の多い市道下九沢 152 号を拡幅する。

てるて公園入り口交差点や横山交差点など、変則的で見通しの悪い交差点を改良し交通規制を実施する。



変則的な「てるて公園入り口交差点」

公共交通網の充実 のために、次の取り組みが必要です。

横山～下九沢～橋本、横山～北里大学病院、横山～市役所方面へのバス路線を整備する。

地域住民が公共施設を利用しやすいよう、公共施設間を結ぶコミュニティバスを運行する。

JR相模線複線化と「作の口」駅の復活を促進する。

小田急多摩線の延伸に伴い、地域内に新駅の設置を促進する。

鉄道を利用しやすくするため、上溝駅までのアクセス道路を整備する。

計画的なまちづくりの推進 のために、次の取り組みが必要です。

住工混在への対応として、工場や地域住民、行政がお互い協力し、地区計画により良好な環境の地域をつくる。

地域住民にわかりやすいよう、学校区、公民館管区、警察署管区、消防署管区、郵便局区の見直しを関係機関に要請する。

地域の商工業を活性化させるため、地域の特色ある取り組みに対して支援する。

(3) 教育・文化

分野別課題

横山地域において、子どもたちが安心して学校へ通い学ぶためには、老朽化した学校施設を、明るく安全な施設として整備し、教育内容を充実させるなど、政令指定都市としてふさわしい教育環境を作ることが必要です。

また、生涯にわたる学びの場としての公民館については、多くの人が公民館に集まりやすい環境づくりや、これからの時代のニーズに合った施設として改修していく必要があります。

横山地域は、「てるて姫伝説」にゆかりのある地であり、地域の文化財としてその伝説を活用し、多くの人たちに「てるて姫伝説」を知っていただくための取り組みが必要です。

提言項目

学校教育環境の充実 のために、次の取り組みが必要です。

老朽化した横山小学校・作の口小学校の校舎等、学校施設の大規模改修を早期に実施する。

知育・徳育・体育・食育など子どもたちへの教育内容を充実させるなど、地域の子どもたちが健やかに育つための教育を進める。

生涯学習拠点である公民館の充実 のために、次の取り組みが必要です。

公民館を、地域の現状や時代のニーズに合わせた内容で改修する。

公民館を中心として、いつでも学べる環境（学びの機会）の充実を図る。

地域文化財の保全と活用 のために、次の取り組みが必要です。

「てるて姫伝説」にちなんだイベント開催して地域の文化財としての PR 活動を進める。

(4) 住環境

分野別課題

横山地域は、横山公園や横山丘陵の斜面緑地など、まとまりのあるみどりが身近にあり、さらに閑静な住宅地という特徴により、住環境には比較的恵まれた地域といえます。

しかし、近年のマンションや戸建て住宅の建設で、貴重なみどりは減少しており、みどりを保存していくことや、地域住民が日頃からみどりに親しめるような環境整備が必要です。

また、住工混在による弊害や、日常的な航空機の騒音、道路脇にはポイ捨てされたごみが目立つなど、地域の良好な環境に影響を与えている要素も少なくありません。

恵まれた住環境を守り、さらに質の高いものとしていくために、行政の対応と合わせて、地域住民の環境に対する意識をより一層高めていくことが求められています。

提言項目

公園整備・緑化の推進 のために、次の取り組みが必要です。

地域住民がいつでも気軽にみどりに触れ合えるよう、姥沢公園の散策路を整備する。また、誰もが安心して利用できるよう、公園内の暗い箇所には照明を設置する。

地域住民が自ら取り組むみどりの創出活動に対して支援する。

地域住民が安心して利用できる広場や公園を確保する。



姥沢公園の散策路

良好な住環境の確保 のために、次の取り組みが必要です。

住工混在の解消に向けて、地区計画等の手法を活用し、住環境の改善を図る。

地域の上空を通過する米軍機等の騒音対策を要請する。

ごみ対策の推進 のために、次の取り組みが必要です。

ごみの分別収集の徹底や、事業者へ簡易包装等の取り組みを促すなど、環境に配慮した行動を推進する。

ごみのポイ捨て等を防止するために地域全体で取り組む環境美化活動について支援する。

(5) 安全・安心

分野別課題

横山地域は、通勤・通学時に自動車や自転車の交通量が多く、小中学生の通学路にも大型車両が進入し、歩道が狭い箇所においても自転車が通行するなど、交通安全面での対策を講じる必要があります。子どもたちの安全を守るために、通学路へ進入する車両への対策も必要となっています。

空き巣被害の報告もされている中で、日常生活を安心して過ごすためには、防犯対策にも取り組む必要があります。

また、下九沢地域には交番がなく、防犯面で不安を感じている住民も多いため、地域住民が連携して防犯対策に取り組むなど、自らの地域を自らが守る意識を高めていかなければなりません。

提言項目

交通安全確保対策の推進 のために、次の取り組みが必要です。

路側線内のカラー舗装化の実施や、時間制限での進入禁止措置など、通学路の安全確保に取り組む。

歩行者と自転車の安全確保のため、自転車専用道路を整備する。

交通事故のない明るいまちをつくるため、交通ルール遵守の徹底、交通取締りの強化を図る。

犯罪のないまちづくり のために、次の取り組みが必要です。

地域の治安を守るため、下九沢方面への交番設置を要請する。

下九沢団地南側、横山団地、小町通の通路などの暗い箇所には、安心して通行できるよう、防犯灯を設置する。

地域ぐるみで実施できるような防犯パトロールなどの活動体制をつくる。

地域住民へ不審者情報を提供できる体制を整備する。

地域防災体制づくり のために、次の取り組みが必要です。

「自分たちの地域は自分たちが守る」という意識のもと、地域防災組織をつくり、非常時に備える。

中学生、高校生等の若者による地域防災の支援組織をつくる。

(6) コミュニティ

分野別課題

横山地域では、地域住民同士のコミュニケーションは比較的良いといえますが、地域コミュニティの中で大きな役割を担う自治会や、子ども会、老人クラブなどへの加入者が減少を続けています。同時に、自治会の祭りや様々な地域活動など、自治会活動への参加者も減少しています。

こうしたことに加え、活動時に集まれるような自治会館や自治会広場などが不足しており、地域のコミュニケーションを醸成するための場を確保することが求められています。

地域住民のみんなが顔見知りであり、いざという時に助け合える地域をつくるために、子どもから大人まで、自治会を中心に、様々な場面で集い語らうことができる地域が求められています。

提言項目

地域コミュニティの充実 のために、次の取り組みが必要です。

世代を問わず参加できるような地域活動やイベントを実施するなど、地域のコミュニケーションの醸成を図り、地域住民同士の連帯感を深める。

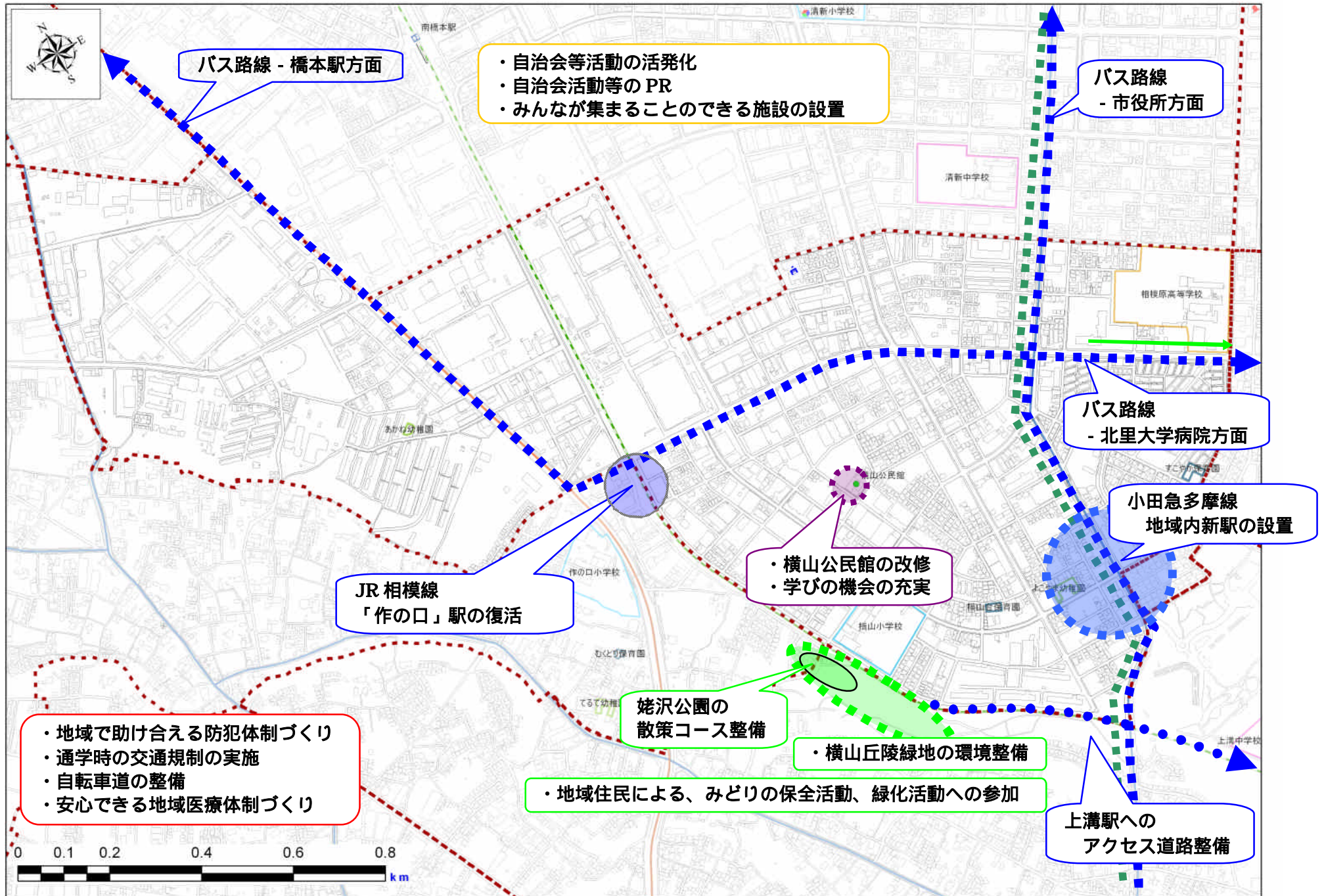
自治会等への加入を促進するために、自治会活動の重要性等の理解を広め、PR 活動などを実施する。

地域の各種団体活動間の連携を図り、世代間のコミュニティの醸成を図る。

地域コミュニティの場の確保 のために、次の取り組みが必要です。

地域コミュニティの拠点となる集会施設や、広場の確保を進める。

5 提言図



【付属資料】

会議経過

日程	会議内容	
平成19年 8月10日(金)	第1回横山地域まちづくり会議準備会 ・会則、公募方法等の検討	
9月 5日(水)	第2回横山地域まちづくり会議準備会 ・公募の選考等	
10月 3日(水)	第1回横山地域まちづくり会議 ・会則(案)、役員を選出	
10月31日(水)	第2回横山地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の抽出	
11月30日(金)	第3回横山地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の抽出	
12月19日(水)	第4回横山地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の取りまとめ	
平成20年 1月23日(火)	第5回横山地域まちづくり会議 ・地域の課題及び横山地域のまちづくりの方向性 ・地域説明会の日程	
2月20日(水)	第6回横山地域まちづくり会議 ・提言書(素案)の検討	
3月25日(火)	第7回横山地域まちづくり会議 ・提言書(素案)の検討	
4月15日(火)	第8回横山地域まちづくり会議 ・提言書(素案)の確認 ・地域説明会について	
4月23日(水)	地域説明会	
4月30日(水)	第9回横山地域まちづくり会議 ・地域説明会の意見について	

横山地域まちづくり会議委員名簿

		氏名	選出団体	役職
1	会長	小林 茂裕	横山地区自治会連合会	会長
2		延 昭徳	横山地区自治会連合会	副会長
3		本多 昭臣	横山地区自治会連合会	副会長
4		土屋 正芳	横山地区自治会連合会	副会長
5	副会長	小星 雅明	横山公民館	館長
6		小形 吉正	横山地区社会福祉協議会	副会長(H19.10.4~)
		岸 義吉	横山地区社会福祉協議会	会長(~H19.10.3)
7		箕輪 八重子	横山地区民生委員児童委員協議会	会長
8		羽深 シヅカ	横山地区老人クラブ連合会	会長
9		武隈 正雄	交通安全協会横山支部	支部長
10		石川 恭子	ボランティア横山	代表
11		田口 和久	横山小学校 PTA	会長
12		関口 浩子	横山小学校 PTA	
13		原田 眞樹	清新中学校 PTA	(横山地区)
14		御厨 ひろみ	横山地区子ども会育成連絡協議会	
15		佐藤 奈穂美	横山地区子ども会育成連絡協議会	
16		北川 春恵	横山地区青少年健全育成協議会	
17		中村 守	青少年指導員	
18		佐古 竜一	体育指導委員	
19		大葉 勝	男性ボランティア横山ゼロツウ/テン	
20		朝生 洋	横山地区防犯連絡協議会	
21		山野井 仲次	横山西商店会	
22		小林 裕幸	公 募	

(事務局)

平成 20 年 4 月 1 日現在

企画政策課 主 査 石井 秀樹
 企画政策課 主 任 山口 秀行
 都市計画課 主 査 駒沢 徳郎
 市民協働推進課 副主幹 高橋 秀彰
 道路管理課 副主幹 山口 正夫
 (H20.3.31 まで 高齢者福祉課)

横山公民館 館長代理 江成 均
 (H20.4.1 から)
 横山公民館 館長代理 石川 忠義
 (H20.3.31 まで)

審議内容等

全9回のまちづくり会議を通して、各委員から様々な角度からの活発な意見が出されました。提言書には、それらの意見が集約されて表現されているため、これまでの議論の過程を伝えきれないのではないかと懸念が、会議の中で出されました。

そこで、審議内容を示すものとして、会議で出された意見を体系図として表現し、ここに掲載したいと思います。

これは、まちづくり会議委員の議論の軌跡であり、新しい総合計画や新都市計画マスタープランが策定された後も、横山地域の課題を示す資料として活用できるのではないかと考えています。



横山地域まちづくり会議 課題等体系図（議論の軌跡）

分野	項目	目的(案)	対応策(案)
健康福祉	健康	健康づくり	かかりつけ医の普及 医療情報の充実 医療機関の充実 予防医療の普及 保健所の設置 診療所の設置 保育所・幼稚園の設置 地域福祉拠点の整備 福祉活動のPR 高齢者の社会参加の促進 ひとり暮らし高齢者対策の充実 デイサービスセンターの設置 特別養護老人ホームの設置 老人会への入会促進 など
	福祉	子育て環境の充実	
		地域福祉活動の充実	
		高齢者にやさしいまちづくり	
都市基盤	道路	円滑な道路交通の確保	道路の整備 円滑な交通確保対策 バス路線網の整備 小田急多摩線延伸時の地域内新駅の設置 鉄道網の充実 相模線の複線化及び作の口駅の復活 パークアンドライドの整備 駐輪場の設置 区画整理事業の実施 地区計画等の策定 など
	交通	公共交通網の充実	
	都市基盤	計画的なまちづくり	
教育	学校教育	学校教育環境の充実	学校施設の充実 中学校給食の導入 公民館の整備 青少年活動拠点の整備 文化財の保全・活用 地域イベントの実施 など
	生涯学習	生涯学習活動の充実	
	文化	文化財の保全	
生活・環境	住環境	うるおいのある環境づくり	公園の整備、みどりの保全・創出・活用 姥沢公園の整備 住工混在の解消 適切な土地利用 環境美化の取り組み推進 排出ごみの減少への取り組み 米軍機等の騒音対策の取り組み など
		良好な住環境の確保	
		ごみ対策	
		騒音対策	
安全・安心	防犯・防災	防犯対策	交番設置の要請 防犯灯の設置 地域防犯活動の充実 防災環境づくり 地域防災組織づくり 交番と連携した夜間防犯パトロール 通学路の安全確保 歩道のない箇所のカラー舗装化 警察による交通取締りの強化 歩道・自転車道の整備 交通ルールの徹底 など
		防災対策	
	交通安全	交通安全の確保	
産業	商工業	商店街の活性化	工業・商店街の活性化対策の推進 など
コミュニティ	地域コミュニティ	地域コミュニティの充実	コミュニティ活動の場の確保 コミュニティ活動の充実 自治会・子ども会・老人会への入会促進 地域教育力の充実 地域の人材活用 地域連帯感の醸成 など